

世田谷区の現状と取組みについて

第1回 世田谷版気候若者会議

2025年11月16日（日）

世田谷区 環境政策部 環境政策課



全体プログラム（全3回）

本日を含め、全3回の開催を予定しています

回	プログラム
第1回 令和7年11月16日	マイアクションを考える
第2回 令和7年12月7日	「わたしたち」が気候変動を止めるためにはどうしたらしいか考える
第3回 令和8年1月25日	わたしたちの <u>未来</u> のための気候変動対策を考える

国における目標と取組み

2030年ターゲット

脱炭素

自然共生

資源循環

46%
削減

温室効果ガスを
2013年度から46%削減、
さらに50%の高みに向けて挑戦

代表的なアクション

脱炭素先行地域を
少なくとも100か所創出

30by30

サードバイサード

陸と海の30%以上を保全

代表的なアクション

国立公園などの保護地域の
拡張と管理の質の向上

自然共生サイト(仮称)を
2023年に100地域以上認定

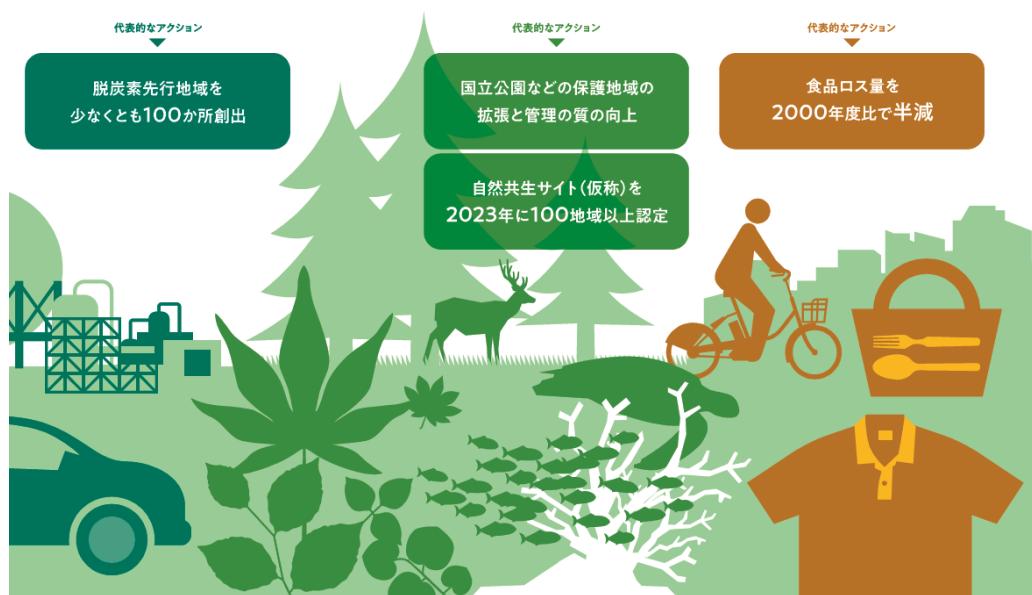
資源循環

80兆円以上

サーキュラーエコノミー
関連ビジネスの市場規模
80兆円以上を目指す

代表的なアクション

食品ロス量を
2000年度比で半減



◇今後10年間で150兆円の官民投資

- 省エネ規制強化や炭素税の導入
- ZEH・ZEB水準の省エネ性能確保
- 蓄電池生産拠点への集中投資
- 国産次世代型太陽光の量産体制の構築や浮体式も含めた大規模洋上風力の案件形成
- 脱炭素先行地域の選定や公営企業を含む自治体の事務事業に係る重点対策の率先実施の加速等による地域脱炭素の全国展開

◇ライフスタイル転換に向けた国民運動

- 脱炭素化を核とした地域づくり
- 地産地消の再エネの最大限導入
- 環境配慮製品・サービス選択等の消費者の行動変容促進
- 食品ロス削減
- 脱炭素型の住まいへの転換
- 移動に伴う環境負荷の削減
- ファッションの「適量生産・適量購入・循環利用」へ転換

都における目標と取組み

◇2050年ゼロエミッション東京の実現に向けた「2030年カーボンハーフ」を表明

家庭部門 直ちに加速・強化する主な取組

全国初※の戸建住宅等に太陽光発電設備設置を義務化する制度の創設や既存制度の強化・拡充

条例による制度強化のポイント

新築建物
建築物環境計画書制度

- ・再エネ設置の義務化
- ・国基準以上で省エネ性能基準を強化
- ・3段階の評価基準を強化・拡充 等

(新制度)

- ・住宅等の一定の中・小・新築建物への太陽光発電設備の設置を義務付ける制度
- ・再エネ設置の義務化
- ・国基準以上の省エネ性能基準設定 等

中小規模
再エネ供給
エネルギー環境計画書制度

- ・再エネ電力割合の高い電力供給事業者の拡大を誘導する仕組みの強化 等

(注) 条例による制度の強化・拡充の内容は、東京都環境審議会の分科会で検討中

※ 1棟の延床面積が300㎡未満の住宅も対象に含む制度は全国初

脱炭素に向けた社会基盤を早期に確立

脱炭素社会に相応しいライフスタイルへの移行を加速し、「災害にも強く健康的で快適な暮らし」へ転換

制度強化に先駆けて、都民の今から「ハーフにチェンジしていく取組を強力に支援し、脱炭素社会に向けた機運を醸成

新築時のゼロエミ仕様を標準化

◆「東京ゼロエミ住宅」の更なる促進とバージョンアップ

- ・「東京ゼロエミ住宅」基準（省エネ性能等）を多段階化し、より高性能な住宅の導入を促進
- ・水準に応じた補助の拡充と、太陽光発電設備設置による上乗せ補助を強化
- ◆税制措置（太陽光パネル付きゼロエミ住宅導入促進税制）の創設
- ・太陽光発電設備の設置等、一定の要件を満たす新築の東京ゼロエミ住宅について、不動産取得税を最大で全額免除

幅広い支援策の強化により既存住宅の省エネ・再エネの導入を促進

◆断熱改修や太陽光発電設備等の設置補助を強化

- ・断熱性能の高い窓・ドアへの改修や蓄電池等の設置補助を大幅に拡充し、太陽光発電設備の上乗せ補助を新設

◆省エネ性能の高い家電等へ買替えを促す「ゼロエミポイント」を再延長

◆太陽光パネルを設置できない家庭でも、再エネ電力をお得に利用

- ・再エネ電力の購入希望者を募り、購買力を高めることで価格低減を実現するキャンペーンを首都圏で引き続き実施

事業者連携で省エネ・再エネ住宅の普及を推進

- ・都と住宅関係団体等が連携してプラットフォームを設置し、省エネ・再エネの取組を推進

条例制度の強化・拡充

起爆剤となる支援策

<2030年カーボンハーフに向けた主な目標と取組>

太陽光発電
200万 kW以上

改正環境確保条例の円滑な施行に向けた支援策
780億円

エネルギー消費量
50% 削減

省エネルギー対策
134億円

再エネ電力の利用割合
50% 程度

再生可能エネルギーの導入拡大
234億円

新規販売乗用車の非ガソリン化
100%

ZEVの普及促進
556億円

など



環境確保条例改正を契機に脱炭素化を推し進めるため
約1,800億円を計上

区における目標

めざす将来像

小さなエネルギーとまちのみどりで豊かに暮らす
持続可能な未来につなげるまち せたがや

①温室効果ガス排出量(7ガス全体)

達成すべき目標
2030 年度において、
2013 年度比で
57.1%削減をめざします。



野心的な目標
さらなる挑戦として、
2013 年度比で
60%削減を掲げます。

②CO₂排出量

達成すべき目標
2030 年度において、**2013年度比▲62.6%**
削減をめざします。

③エネルギー消費量

達成すべき目標
2030 年度において、2013 年度比で**40.7%**
削減をめざします。

④再生可能エネルギーの導入に関する目標

達成すべき目標
2030 年度において、再生可能エネルギーを
利用している区民の割合***50%**をめざします。

* 「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」の有効回答者のうち、
「再生可能エネルギーを利用している」と回答した人の割合

達成すべき目標
2050年までに温室効果ガス排出量を
実質ゼロにします。



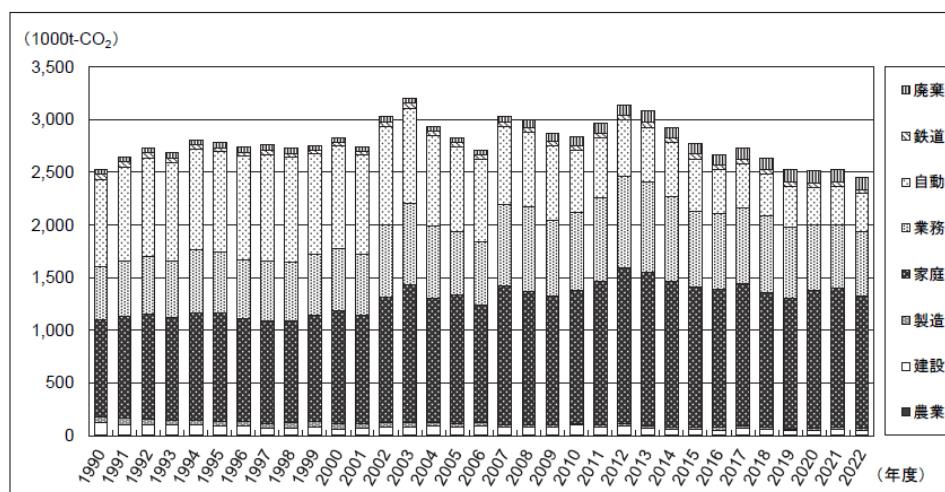
世田谷区のCO2排出量の推移

単位：1000t-CO2eq

部門	2013年	2019年	2020年	2021年	2022年		2030年目標値
					実績	構成割合	
産業部門	90	61	70	76	64	3%	▲28.9%
家庭部門	1,463	1,245	1,307	1,322	1264	51%	▲13.6%
業務部門	858	674	620	605	611	25%	▲28.8%
運輸部門	567	427	396	405	398	16%	▲29.8%
廃棄物部門	103	121	123	121	119	5%	+15.5%
合計	3,081	2,528	2,517	2,529	2,456	100%	▲20.3%
							1,151

▲20.3%
(▲625千t-CO2)

▲53.1%
(▲1,305千t-CO2)



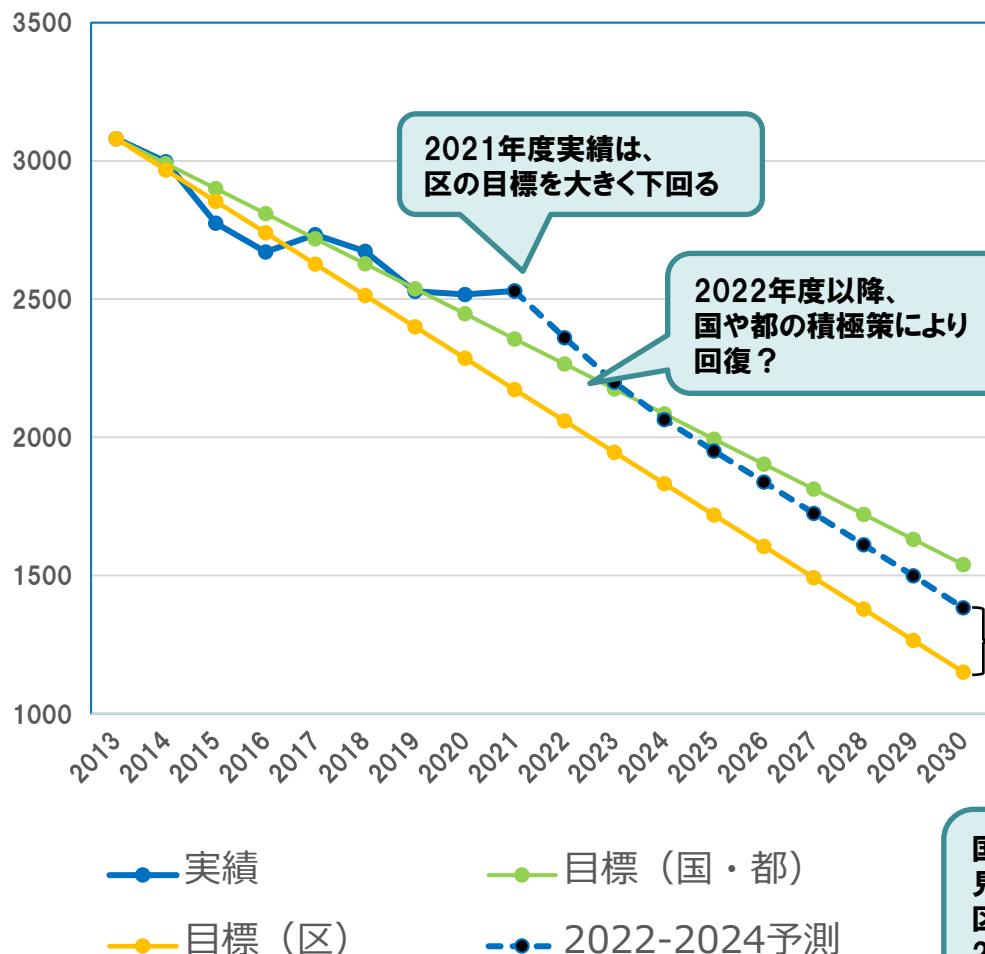
- 最新2022年度CO2排出量は、**2013年度比で▲20.3%減少**にとどまる
- 2030年度目標値に対して、2022年度排出量から▲53.1%削減が必要
- 区内のCO2排出量のうち、**最多多いのは家庭部（51%）**、次いで**業務部門（25%）**
- 家庭部門の削減の進捗が2013年度比で▲13.6%であり、目標値に対する2022年度比での家庭部門の**必要削減率は▲64.5%**
- 目標を設定した際のデータ時点となる2019年度以降、2020・2021年度は新型コロナウィルスによる影響等で、**家庭部門は増加**しており、全体ではほぼ横ばいの状況
- 2022年度は、新型コロナウィルスの影響も低減し、削減CO2排出量は減少している。



2030年度目標を達成するためには、2022～30年度までの8年間で▲1,305千t-CO2（年あたり163千t-CO2）と、これまでの2倍以上の削減が必要

世田谷区のCO2排出量の推移と今後の見通し・目標

世田谷区のCO2排出量の実績と目標



- 2013～21年度の9年間のCO2削減量実績は▲552千t-CO2（年あたり▲61千t-CO2）であり、目標を下回っている
- 2030年度目標を達成するためには、2021～30年度までの9年間で▲1,378千t-CO2（年あたり153千t-CO2）とこれまでの2.5倍の削減が必要
- 国・都が家庭向けの政策を強化しており、目標達成に向け加速しているが、それを見込んで区の目標達成には、233千t-CO2の区独自の削減が必要

世田谷区の目標を達成するため、
どのようなところがポイントになるか..

ポイント 国・東京都・世田谷区の役割を考える

➤ 国は..日本全体の排出量状況をみながら、経済・社会・産業全体の変革を進めている

- ✓ エネルギー構成の変革 (CO₂を排出しない原発や再生可能エネルギーの拡大など)
- ✓ 省エネ基準の規制強化などによる建築物の性能向上
- ✓ 産業構造の転換や技術革新 (ペロブスカイト型太陽電池、全固体蓄電池など)

➤ 東京都では..設備導入の財政的支援や規制強化、最新技術の導入支援を進めている

- ✓ 全国でも最も手厚い再エネ・省エネの補助制度 (国や区と併せて補助率9割のものも!)
- ✓ 新築の建築物に対する再エネ設置の義務化
- ✓ 先端技術の開発支援

これら国や東京都の取組みにより、脱炭素化は進むが、世田谷区の削減目標を実現するためには…



区としてさらなる**独自の対策**

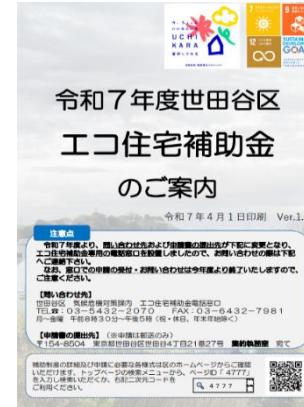
+

区民ひとりひとりの取組み (=マイアクション)
が必要となる。

区民のマイアクションを後押しするための区の取組み

エコ住宅補助金

住宅の改修及び省エネルギー・創エネエネルギー機器類の設置等に対し、費用の一部を補助する制度です。
※令和7年度世田谷区エコ住宅補助金は受付を終了しています。



再エネ切替補助金

区内の再生可能エネルギー活用を推進するため、小売電気事業者等が行う区民の再エネ電力切替促進に係る事業に要する経費を補助する制度です。



世田谷ひとつぼみどり

家庭で簡単に作れる一坪程度の小さなみどりの空間を「ひとつぼみどり」と名付け、身近な場所でみどりを増やしていく活動を推進する取組みです。



緑化助成制度

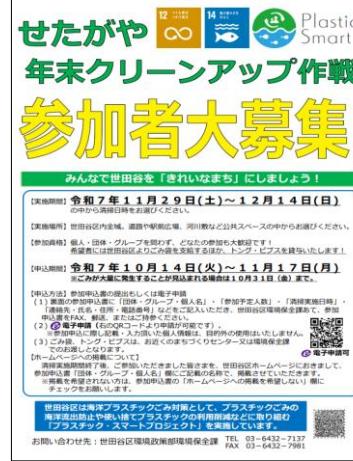
みどり豊かな環境を確保し安全で潤いとやすらぎのある街づくりを進めるため、緑化に必要な費用の一部を助成する制度です。



区民のマイアクションを後押しするための区の取組み

せたがやクリーンアップ作戦

プラスチックごみによる海洋汚染を減らすとともに、世田谷に来られる方をきれいなまちでお迎えするため、区民、事業者等と連携して行う一斉清掃活動です。



世田谷プラスチック・スマートプロジェクト

区民・事業者との協働による様々なプラスチックごみの削減のための取組みです。



せたがや まごころリレー

人、社会、地域、環境に配慮した消費行動「エシカル消費」への関心が高まる中、パートナー事業者・団体と連携し、エシカル消費推進に取り組んでいます。



エコプラザ用賀・リサイクル千歳台

ごみ減量・リサイクルの普及・啓発を目的とした施設です。



リユース事業
(エコプラザ用賀)



イベント・講座
(リサイクル千歳台)



↑イベント（リサイクル千歳台）



↑リユース事業（エコプラザ用賀）

区民のマイアクションを後押しするための区の取組み

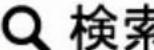
机上にチラシも置いています！

【ご案内】世田谷区でんきの地産地消プロジェクトへの参加のお願い
(住宅用太陽光発電の余剰電力を活用した実証事業)

世田谷区内で発電された
再エネ由来の電気を
ご自宅で使ってみませんか？

電気プランの名前は
「せたがやでんき」です！

詳細・申込・シミュレーションは特設サイトまで

せたがやでんき  検索

<https://setagaya-p2p.jp>



The flyer features a blue sky background with a red diagonal banner in the top right corner containing the text 'まもなく登場' (Coming soon). At the top center, it says '世田谷区にお住まいの方限定' (For residents of Setagaya Ward). Below that, a large red banner宣布 '先着100名様の電気料金プラン登場' (Plan launch for the first 100 households). A speech bubble on the left says 'こんな方におススメ！' (Recommended for these people!). To the right, a list of criteria includes: '在宅ワークや自営業など、自宅で仕事をすることが多い', '昼間に家事(洗濯・掃除・料理など)をよくする', '日中も家で過ごす事が多い', and '毎月の電気使用量が300(kWh/月)よりも多い'. A yellow circle on the left contains the text 'せたがや産のでんきを 買 BUYER'. In the center, the plan is named 'でんきプラン 'せたがやでんき''. A speech bubble on the right says '実証事業モニター募集中!' (Recruiting participants for the demonstration project). Below the name, there's a '参加特典' (Participation benefit) section featuring a red starburst for 'せたがやPay 15,000ポイントプレゼント' (15,000 points gift), a red logo for 'せたがやPay', and a green starburst for '成城ハニー(完戸園)プレゼント' (Honey gift from Seijo). The bottom of the flyer has the text '料金シミュレーターですぐに検討可能' (Checkable with the price simulator) and '※プラン条件あり' (Conditions apply) and '※抽選で10名様' (10 winners by lottery).

環境に関するその他の取組み

[世田谷区環境基本計画](#)

区の環境の現状と課題を踏まえ、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定した計画で、環境の保全等に関する目標と方針、重点的に取り組むべき事項を定めています。



[環境サポーター事業](#)

区環境問題に興味・関心のある若者世代（大学生等）のボランティアを募集し、区立小学校での出前授業や、イベントの企画・運営などを通して、環境に関する啓発活動を行う事業です。



[世田谷区脱炭素化プロジェクト「UCHIKARAプロジェクト」](#)

区内の家庭部門に脱炭素行動を波及させるために、行政と民間企業等が一体となり脱炭素事業を実施するプロジェクトです。



[みどりの計画書・緑化地域制度](#)

面積150平方メートル以上250平方メートル未満の敷地で建築物の新築又は増築を行う場合、建築確認申請の前に「みどりの計画書兼みどりの計画確認書」の届出が必要です。

また、平成22年10月1日より都市緑地法に基づく緑化地域制度を導入しました。緑化地域制度では、建築に伴い敷地の一定割合を緑化することが法律で義務付けられ、建築基準関係規定となります。



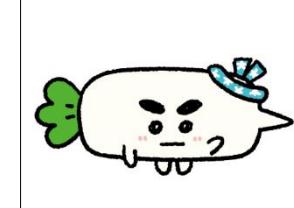
環境に関するその他の取組み

世田谷区農産物「せたがやそだち」

世田谷で生産された、野菜・果実・花などを総称して「せたがやそだち」と呼び、区内農産物のイメージアップとPRを図る取組みです。



商標登録番号 5483670号



まとめ

- ✓ 皆さんは環境のためにどのようなマイアクションを起こすことができるでしょうか。
- ✓ 区役所の取組みに足りないことは何でしょうか。
- ✓ 今回の会議で、ぜひわたしたちに教えてください。